



新しい朝

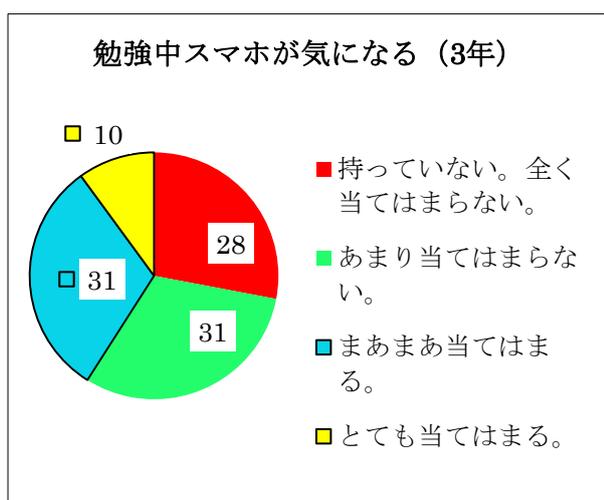
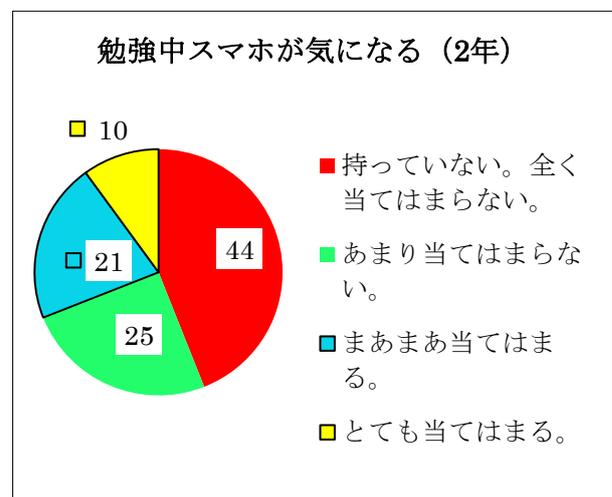
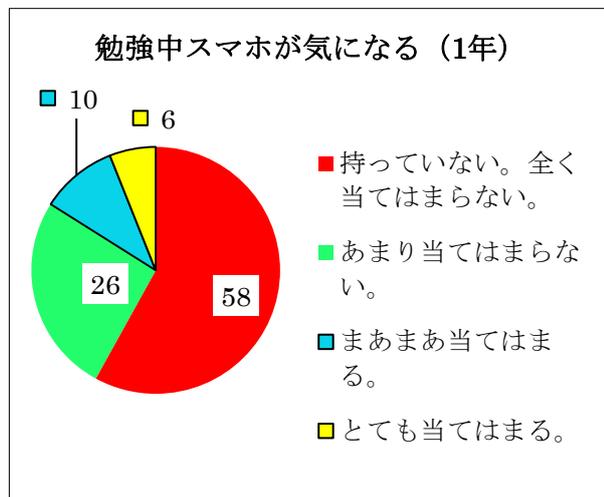
府中市立府中第十中学校
学校だより No.2
平成 29 年 5 月 17 日

自律 (SELF CONTROL)

校長 竹内 康裕

携帯電話から「スマホ」への移行はもはや一昔前の話になりました。通信機器やSNS等の若者や子供への急速な広がりによって生じる諸問題は、今や社会全体の問題となっています。すさまじい技術の進歩の陰で、それらを使う側の心の成熟とのバランスが崩れ始めているのではと心配をしています。

次のグラフは4月下旬に本校の全生徒に行った自宅学習に関する生徒アンケートの結果の一部です。「自宅学習中に携帯電話・スマホ等の着信が気になることがあるか」という質問に対する学年ごとの回答です。(数字は%)



1年生	とても当てはまる : 6%	まあまあ当てはまる : 10%	計 16%
2年生	とても当てはまる : 10%	まあまあ当てはまる : 21%	計 31%
3年生	とても当てはまる : 10%	まあまあ当てはまる : 31%	計 41%

学年が高くなるにつれて気になる状況となっています。所有者の増加もあるでしょうが、それでも3年生の約4割が「まあまあ当てはまる」以上の心配される状況です。このアンケートでは着信の頻度や学習への集中の妨げの度合いなどは判りません。しかし、「便利で人間の幸せを叶えるための機械」がそれを持つ人の妨げの一つとなっていることは事実で、学力の伸長とともに心の成長も大きく期待される高学年に多いことも心配です。

今日、技術の進歩により私たちの暮らしには便利なものが増えました。昔のマンガに出てきた夢のような装置が現実となりました。初めて月へ行った宇宙ロケットを制御していたコンピュータは今のパソコンの足元にも及ばないものであったそうです。人工知能の囲碁ソフトが人間に勝利することはもう少し先だと言われていましたが、あっさりとその時を迎えてしまいました。通信機器等ハイテク機器の精度はどこまで向上するのでしょうか。

しかしそれを使う人間の成長は、機械のような急激なものではありません。成功や失敗を繰り返しながら少しずつ積み重ねるように進んでいきます。「人間が機械に支配される」とまでは言わないまでも、科学の進歩がある一面では結果としてマイナスな要因となっていることにも、もっと敏感になるべきだと思います。可能な具体的な対応をすぐにとるべきだと思います。

今回のアンケートではスマホが一つの例として挙げられましたが、「スマホ＝悪」の図式を断言するわけではありません。使う人の「流されない習慣」「心の強さ」とでもいいでしょうか、例外のない行動力の強さが必要であると思います。人間は完璧ではありません。たくさんの正しい心や向上心・自制心などをもちながらも、弱く醜い部分があるのも事実です。その部分があることも自覚し受け入れながら、自分を良い方向へコントロールしていくための工夫を、考え・実行し・継続させるべきだと思います。個々の性格には違い（個性）があり、成長の度合いも異なります。スマホに限らず自分に合った自己管理のための具体的な行動を考えたいものです。

■□ 部活動 ■□

女子バスケットボール部、女子バレーボール部、都大会ガンバレ！

先日行われた第9ブロック春季大会において、女子バスケット部が準優勝、女子バレー部が3位という優秀な成績を収め、5/21（日）から始まる都大会に出場します。健闘を祈ります。

他の部も6月になると3年生にとって最後の公式戦となる選手権大会が始まります。

【平成29年度部活動入部状況】

No.	部名	性別	男子計	女子計	1年計	2年計	3年計	総計
1	バレーボール	男子	0		0	0	0	16
		女子		16	4	7	5	
2	バスケットボール	男子	21		15	1	5	41
		女子		20	6	6	8	
3	剣道	男子	4		0	3	1	12
		女子		8	3	1	4	
4	サッカー	男子	22		5	8	9	22
		女子		0	0	0	0	
5	バドミントン	男子	35		17	7	11	56
		女子		21	9	8	4	
6	テニス	男子	3		2	0	1	29
		女子		26	9	4	13	
7	水泳	男子	3		1	2	0	5
		女子		2	1	1	0	
8	相撲	男子	3		2	1	0	3
		女子		0	0	0	0	
9	新体操	男子	0		0	0	0	1
		女子		1	0	1	0	
10	アスリート	男子	58		22	21	15	60
		女子		2	0	2	0	
11	吹奏楽	男子	11		1	4	6	37
		女子		26	12	4	10	
12	アート	男子	0		0	0	0	18
		女子		18	3	9	6	
13	パソコン	男子	17		5	3	9	17
		女子		0	0	0	0	
入部者数			177	140	117	93	107	317
在籍人数			185	156	117	103	121	341
入部率 %			95.676	89.744	100	90.291	88.43	92.962

■□ 離任式 ■□

離任された先生方、ありがとうございました！ 十中の伝統を守ります！

5/2(火)、この3月に十中を去られた先生方がご挨拶にお見えになりました。残念ながら全員はおそろいになりませんでした。心温まるメッセージをいただきました。みんな、お世話になった先生方のお話をよい態度で聞いていました。そして、代表生徒のお礼の言葉と花束、全校生徒の『校歌』と『新しい朝』で感謝の気持ちを伝えました。

【岩浪副校長先生】

副校長という仕事は、みんな(生徒)と触れ合う機会が少ないので、今日の離任式も来るか迷いました。しかし、3年間お世話になった十中の“明るいあいさつ”と“素晴らしい歌声”を聞きたいと思い、今日来ました。

十中には「明るいあいさつ」「きれいな学校」「素晴らしい歌声」「時間を守る」という素晴らしい伝統があります。ぜひ、この伝統を守り、発展させていってください。そしてまた、十中生の良い評判をたくさん聞かせてください。皆さんのことを応援しています。ありがとうございました。



【神原先生】

「give and take」という言葉を知っていますか。多くの人は、一つのもので与えたら、一つの見返りをもらえるという意味と思っている人が多いと思いますが、私の十中での経験の中では、「give」がたくさん必要だということがわかりました。そして、私はみなさんにあげることができるものはすべてあげるつもりでずっとやってきました。「give」×5 and 「take」という感じでした。この十中での経験によって、私は教師としてやっていく自信と頑張ろうという強い決意を皆さんからもらいました。今までありがとうございました。



【高岡先生】

今は府中第八中学校のサッカー部の顧問をしています。八中に異動してから、十中の良さがよくわかりました。それは十中のあいさつがとても良いということです。みなさんにはより良い(新しい)十中を創造してほしいです。大切なことは「挑戦」です。結果はどうであるかわかりませんが、今の自分を超越することが必要です。困ったときは上級生を見なさい。十中の先輩について行けば間違いありません。今まで6年間ありがとうございました。



【山田先生】

新しい学校にはカルチャーショックを受けています。廊下は200mあります。全校集会も小学1年生から中学3年生まで全員が集まります。小学6年生の後は、7年生になり、私は今、9年1組の担任です。1か月勤めましたが、まだ分からないことばかりです。大変な中ですが、笑って前進していくことが大切だなと思いました。

何事にも、挑戦していくことが大切です。みなさん、鳥は世界で何種類いると思いますか。約1万種類です。その中で、飛べない、もしくは飛ばない鳥は何種類いると思いますか。40種類です。「飛べない鳥」「飛ばない鳥」には絶滅危惧種が多いです。これは人に例えると、挑戦しないことではないかと思います。みなさんにはぜひ「羽ばたく鳥」になってもらいたいです。今までありがとうございました。



■□ 第38回運動会 ■□

スローガン『一意奮闘』を胸に、君は誰のために、何のために頑張るのか？

いよいよ第38回運動会が開催されます。一人一人が日頃の体育の授業や部活動等で培ってきた体力とクラスの練習で築いてきた団結力を思う存分に発揮してほしいと思います。何と言っても、最後の運動会にかける3年生の気合いは凄まじいものがあります。さすが最上級生です。きっと有終の美を飾ってくれることでしょう。短い練習期間でしたが、どのクラスも運動会実行委員を中心としてよく頑張ってきました。運動会は参加するものではなく、創り上げるものです。優勝や自己ベストを目指して競う競技種目、クラスの団結による団体種目、全体演技でまとまりを表現する入場行進や準備体操、そして、校歌、各競技の入退場、応援、系の活動など、そのすべてに力を合わせてひたむきに取り組めてこそすばらしい運動会が完成するのです。そのひたむきな姿が観る人に感動を与え、みんなと心をつにし、力を合わせた時間が多ければ多いほど、自分自身を感動させるのです。勝敗を超えた感動です。十中生としての誇りを胸に、感動の運動会を創り上げてくれることを期待しています。

きっと、運動会の競技中、そして、運動会が終わった瞬間、心の中には5文字の言葉「〇〇〇〇〇」がたくさん湧いてくることでしょう。

